

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	91872
事業名	景観計画推進費					
評価担当課	所 属	政)都市計画部 地域計画課			電話番号	011-211-2545
施策名	都市空間の種別に応じた土地利用と四季の変化が感じられる良好な					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	● 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	良好な景観は市民生活に潤いや豊かさをもたらす市民共通の資産であり、本市では昭和56年から景観施策を展開してきた。平成16年には景観法が策定されたことから、以降は同法に基づき景観計画を策定して施策を実施し、前戦略ビジョンの策定を受けて、平成29年に現景観計画を策定した。 市街地再開発、都心部における建築物の高層化などにより、現景観計画の策定時には想定していない規模で本市の街並みが大きく変わる転換期を迎えている。また、本市は日本新三大夜景都市に選出されており、優れた景観は観光資源としての価値があることから、夜景や眺望等の魅力を高めていく必要がある。					
	事業内容 (何を実施し)	■取組内容 ・札幌市景観計画に基づき、以下の施策を推進する。 ①届出・協議による景観誘導(届出、専門家の関与による協議制度(景観プレ・アドバイス)の実施等) ②景観資源の保全・活用(景観資源の指定・登録等) ③地域ごとの景観まちづくりの推進(地域住民の興味・関心を想起させる取組の推進等) ④景観に関する普及啓発の取組(市民・事業者等の自発的活動の促進等) ・眺望景観の誘導のための調査 ■取組結果 ①届出142件の協議のほか、景観プレ・アドバイスを行うことなどにより景観誘導を行った。 ②景観資源の登録に向けた前段の協議を14件実施することで景観資源の活用を行った。 ③真駒内駅前地区における景観配慮の手法例を検討し、景観まちづくりの推進を行った。 ④ミニ大通周辺地区で市民活動を支援し、普及啓発を行った。 ・眺望景観の調査を行った。					
	どのような状態にしたい (状態を維持したい)	良好な景観が形成されることで、市民の街への愛着や誇りが醸成されるとともに、イメージの向上等による観光客の増加や民間投資の誘発など、経済的に良い影響をもたらす。					
	他都市の状況	全政令市において、景観法に基づく景観計画や条例を策定・制定し、法令に基づく施策を行っている。					
	市民参加の実施	■ 企画 ■ 実施 □ 評価 □ 対象外					
令和4年度決算額	11,296 千円	うち特定財源	0 千円		正規職員業務量	6.5 人工	
令和5年度予算額	20,000 千円	うち特定財源	0 千円		正規職員業務量	7.5 人工	
令和5年度決算額	15,839 千円	うち特定財源	0 千円		正規職員業務量	7.5 人工	
令和6年度予算額	32,000 千円	うち特定財源	0 千円		正規職員業務量	6.5 人工	
指標	アウトプット 活動指標1	景観資源の指定・登録件数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		38件	38件	38件	52件	52件	56件
	↓						
	アウトカム 成果指標1	札幌の景観を魅力的だと感じる人の割合				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		76%	76%	73%	77%	78%	79%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	活動指標は指定・登録の前段となる協議を行い、目標達成に向けた取組を行った。成果指標は実績値が前年度比で減少したが、継続して協議や届出において景観誘導を行うことで、目標達成を目指す。					
	アウトプット 活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
アウトカム 成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい		
	令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	なし						
来年度以降の方向性	来年度以降も現事業を継続し、引き続き魅力ある札幌の景観形成に取り組む。						